

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 30 年 12 月 定例会

議席番号 2 番
中川 正弘議員

海岸地区空屋等再生まちづくり事業計画について

海岸地区の人口減少は加速度的に進んでおり、すぐにも手立てをしなければならいと思う。交流人口の増加、環境整備と並行して進めなければならぬと、考える。この事業をそのような視点からも質問していく。エリアごとに整備計画を定め、町有物件については、具体的な利活用計画を定め整備計画の促進を図るとされている。各エリアの整備計画について順次質問していく。

①観光周遊エリア（尼瀬3区から諏訪本町）

以前から同様の計画があり、天領の里から観光客の回遊を目指していたが、目立った成果が上げられていない、その反省点はどこにあると考えるか？

②町屋再生エリア（伊勢町から稲荷町）

旧津又商店を小規模改修（200万）するとされているが、現状の母屋は、小規模な改修では維持できないと思う。事業年度を繰り下げてでも、きちんと全面改修した方が、手戻りにならず良いのではないかと、考えを伺う。

③防災安全エリア（岩船町から住吉町）

海岸庁舎跡地に防火水槽を設置するとしているが、此処こそが、宅地造成の最適地ではないのか、考えを伺う。他の候補地はないのか？

④賑わい活性エリア（石井町から羽黒町1区）

コミュニティサロンと、短期移住者向け併用住宅が計画されているが、国道改修が終われば、交通量も増え、角地の一等地になる。御輿会館のような、地域をアピールするようなものを提案するが、考えを伺う。

⑤民活エリア（羽黒町2区から木折町）

防災の観点から、車で避難、移動するときに、海岸道路へのアクセスは多い方が良く思う。また、土地の付加価値を高めるものだと思う。鳴滝町地内に海岸へ通じる道路は建設できないか？